

フィリピン

Republic of the Philippines | フィリピン共和国

実施時期 || 2026年3月～5月 費用 || 約57万円 上限人数 || 15名

応募条件 || 特になし

フィリピンは東南アジアに位置する島国で、7,000以上の島から構成されています。人口約1億人、公用語は英語とフィリピン語で、キリスト教徒が大部分を占め、植民地時代のスペイン文化も色濃く反映する国です。今回訪問するセブ島は日本から5時間程度で行くことのできるリゾート地で、豊かな自然環境や歴史的文化が多くある観光都市です。その他にも近年では家具製造や情報通信・ソフトウェア産業にも力を入れています。様々な見どころのある地域で言語習得のみならず異文化理解を深めることを期待します。



学生・教員の声

フィリピンで最古のサントニーニョ教会やマーケット、ショッピングモールなど見どころが多数あるセブ島は、皆さんにとって多彩な経験ができる最適な都市だと思います。また、語学学校も多くあり、施設も綺麗で学習環境に相応しい場所です。ぜひこの機会に様々な施設を巡り現地の人々と交流してください。

プログラム概要

期間 | 2026年3月～5月／9週間

語学研修

フィリピン研修は、受講生が現地で語学を学ぶコースです。担当教員は現地には出向かず後方支援を行います。現地受入機関のGlobal Language Cebu (GLC) から提供されたプログラムに沿って英語を学習します。教室と同じ建物に入っているGLCの寮に宿泊しながら受講することになります。寮の宿泊費には3食の食費も含まれ、完備された施設で英語を基礎から思う存分学べる良い機会です。デジタルテキストを使用してGLCが開発した教材を元に、プログラムは主に、マンツーマンレッスン・グループレッスンから構成され、リスニングとライティングの強化に役立てます。

【時間割】

	月	火	水	木	金
8:00～12:00	レッスン (文法、リーディング、スピーキング、リスニング、発音、ニュース、 カランメソッド、語彙、トピック英会話、トラベル英会話)				実習
13:00～18:00	レッスン (文法、リーディング、スピーキング、リスニング、発音、ニュース、 カランメソッド、語彙、トピック英会話、トラベル英会話)				実習



フィールドワーク

各自の関心に基づいたテーマによってフィールドワークの方法は異なりますが、主に現地ではしか収集できないような情報を得ること、そして、情報収集の際に現地の人々とコミュニケーションを図ることが共通の目的です。また事前に予定されていたことが実現できなかった場合は現地で実現可能な代替策を模索して柔軟に予定変更を行い、ベストを尽くす努力をすることなどがフィールドワークに求められます。

NGO 団体において、週1回の実習プログラムも組み込まれています。

【フィールド調査テーマ例】

- フィリピンの食文化に関する考察
- セブ島の観光業について ―― コロナ禍の影響
- セブ島の NGO 活動からみる貧困問題
- セブ島のカカオ豆について ―― 生産現場の調査



現地受入機関 | グローバルランゲージセブ (GLC)

2011年に IDEA CEBU としてスタートした語学学校です。2022年11月に新キャンパスに移転し、グローバルランゲージセブ (GLC) と改名し、学生定員400名を超えるほどの大規模な学校になりました。GLCを卒業した留学生は、それぞれ将来の目標に向かって活動しています。例えば、母国で活躍している人もいれば、世界をステージに挑戦している人もいます。GLCはグローバルの起点となって「英語力」を磨き上げる土台となります。

現地受入機関	グローバルランゲージセブ (GLC) Global Language Cebu
所在地	2815 New Frontier St., Mabolo, Cebu City, Cebu, Philippines 6000
URL	https://ip.ideaeducation.net/
宿泊情報	受入学校内に併設
ビザ	必要 (現地到着後、受入学校が手配)

【FW費用概算】2024年度実績			
渡航費	約10万円	宿泊費※1	約30万円
海外旅行保険料	約6.5万円	その他※2	約10.5万円
概算費用		約57万円	

※1: 2 人部屋料金 (3 人部屋 25 万円) 1 日 3 食費用含む
※2: 空港送迎、ビザ延長費、テキスト代など